場外馬券売り場進出を阻止せよ

森　亘　議員（自民）

町長　地域などの意向を踏まえ、適切に対応する

質問　元狭山地区のショッピングモール西側に、現在、場外馬券売り場として大規模施設進出計画が持ち上がっている。実現ともなれば、周辺地域の風紀や教育環境の悪化に留まらず、町の健全な発展を阻害する大きな要因になると確信する。しかし、現行の制度では、町長の同意がなければ進出は不可能であり、町長の政治判断に委ねられている。そこで、この問題について、教育委員会の見解と、町長の最終判断を伺う。

町長　周辺地域の青少年への影響、また生活環境への影響が懸念されるので、好ましくない施設と思っている。

町としては、将来のまちづくりに及ぼす影響を基本として、地域や教育関係者の意向、また住民代表の議会の意向を踏まえて、適切に対応していく。

教育長　町の方針と同様で、好ましくない施設と考えている。なお、町の小中学校校長会から、設置に反対し、許可しないよう要望するとの要望書を受けている。

大井競馬場専用場外発売所オフト大郷の外観

こんな質問もありました

どう取り組む地域教育力の醸成。

教育長　学校・家庭・地域の連携、子供会や地域をつなげる仕組みづくりを進めたい。

第4次長期総合計画と町長の施策方針を問う

竹嶋　久雄　議員（自民）

町長　夢のある笑顔で暮らせるまちづくりを目指す

質問　平成23年を初年度とする第4次長期総合計画を目前に控え、今後の総合的なまちづくりが求められている。町長は皆さんと一緒に夢のあるまちづくりを目指すとして、2期8年間の経験と実績を基に、行動力と前進あるのみと決意を新たに数多くの公約を掲げ、3期目の挑戦を見事勝ち抜き、充実した活気あふれる意気込みが感じられる。そこで、第4次総合計画について、どのような取り組みと姿勢で挑むのかその決意と抱負を伺う。

町長　これからの地域経営は、町民、議会、行政がそれぞれの知識と経験を生かし、それぞれの役割を果たす事が大切である。

第4次長期総合計画の策定には、町民意識調査をはじめ、町づくり懇談会などの機会を捉え、また、町内会などの団体を通じて意見を聞き、有効な施策を取りまとめたい。

私達一人一人が互いに支え合うことを基本とし、「夢のある笑顔で暮らせるまちづくり」の実現に向け、邁進していく。

町の現状を分析する策定委員会専門部会

学校教育の保護者負担の軽減を

近藤　浩　議員（改革）

教育長　今後も継続的に行っていく

質問　未曾有の経済危機・雇用不安の中、多くの児童・生徒の保護者にとって学校教育における経済負担も厳しいものがあると思う。

また、教育費の負担は少子化問題にも大きな影響を落としているのではないだろうか。制服・教材・修学旅行など、さまざまな出費が少なからずあるが、その現状と保護者負担の軽減策について教育長の所見を伺うものである。

教育長　現状は、経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、児童・生徒就学援助費と特別支援教育就学奨励費を20年度634人に約4、120万円を援助している。また、校外学習時には、全児童生徒の保護者に、約950万円を補助金として支出している。今後も、認定基準などを変更することなく継続的に保護者負担の軽減策を行っていく。

三小6年生の移動教室（日光）

こんな質問もありました

ごみゼロのまちづくりを目指すべき。

町長　ごみの減量、再資源化について、積極的に取り組みたい。

場外馬券売り場問題とまちづくりの理念について問う

谷　四男美　議員（住民）

町長　十分な議論を重ね、有効な対策を講じたい

質問　最近、特別区が所管する競馬の場外馬券売り場の町への進出説明会があった。説明会では地元住民、地元議員共に絶対反対を表明した。しかしながら、町長は「好ましくない施設」としているだけで、反対と言明しないのはなぜか。現在、町にはパチンコ店やゲームセンター、産廃施設など「好ましくない施設」が乱立している。この状況を町としてどのようにとらえ、次期長期総合計画で対応していくのか町長の答弁を求める。

町長　特別区競馬組合の活動は、法で定める範囲内。土地所有者にとっては個人の土地利用の問題で、資産運用の選択肢の一つ。従って、軽々に反対を言明できないのが町長の立場である。

しかし、将来のまちづくりに及ぼす影響を基本として、地域や教育関係者の意向また住民代表の議会の意向も踏まえて、適切に対応していきたい。

次期長期総合計画の策定においても、十分な議論を重ね、有効な対策を講じていきたい。

場外発売所オフト大郷の観覧席